

中原自治会館に太陽光発電装置を設置

1. 太陽光発電装置の様子

右の写真は中原自治会館です。
自治会館の1階の屋根に太陽光パネルを設置し、
会館の裏に蓄電池を設置しました。



- 屋根に設置した太陽光パネル



- 蓄電池



- 太陽光発電の仕組み



2. 太陽光発電装置の導入の経緯

中原自治会では以前から太陽光発電設備の導入について環境部を中心に話し合いを行ってきました。そんな中、令和6年2月の磯子区連合町内会長会で「自治会町内会館炭素化推進事業についての事業説明・募集案内」の発表がありました。

早速、環境部、部長会、理事会で話し合い、申請には団体として意思決定が必要とのことでしたので、令和6年4月の通常総会に「自治会館脱炭素化推進事業（太陽光発電設備・蓄電池導入）の申請について」の議案を提出しました。提案理由は、「脱炭素化推進及び災害時の非常用電源として必要」としました。

議案は承認されましたので、業者から見積書を取り、工事業者の選定へと進みました。令和10月に横浜市から申請が承認されましたので、11月に工事を開始し、12月にすべてが完成しました。

令和6年12月14日に、太陽光発電設備完成式（通電式）を実施しました。

3. 太陽光発電装置の概要

1 太陽光発電装置経費（円）

	経 費	自治会負担額	横浜市補助額
太陽光発電装置	2,475,000	825,000	1,650,000
蓄電池	1,716,000	572,000	1,144,000
計	4,191,000	1,397,000	2,794,000

2 太陽光発電装置の内容

太陽光発電設備 太陽光パネル 15 枚（1 枚 440W） 計 6.6 kW

マルチパワーコンディショナーセット 5.9 kW

蓄電池 蓄電池容量 6.5 kWh

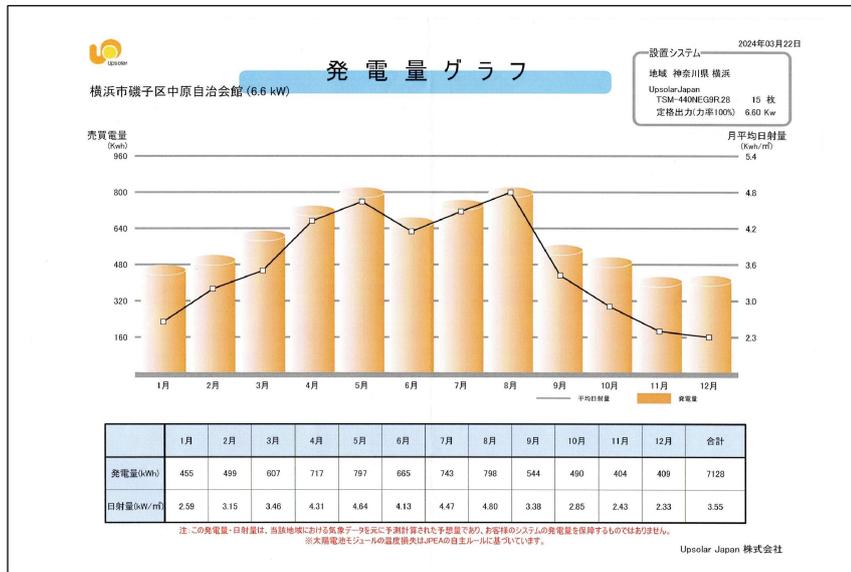
3 太陽光発電で発電された電力について

自治会館内で消費される電気を賄うとともに、余剰電力については売電する予定です。

4 施工業者 有限会社円行電設

業者は横浜市内の業者との指定がありました。

5 太陽光発電施設の年間発言量（計画） * 平均日射量を基に作成



4. 中原自治会館

太陽光発電設備完成式(通電式)の次第

日時 令和6年12月14日

会場 中原自治会館

次第

進行 高橋正行 副会長

1 はじめに ～これまでの経緯～

中原自治会 金子善政 会長

2 お祝いのことば

磯子区 高橋 功 区長

3 自治会町内会館脱炭素化推進事業について

市民局地域活動推進課 堀 雅史 担当課長

～ ドローン映像 ～

4 通電式

磯子区 高橋 功 区長
 中原自治会 金子善政 会長
 中原子ども会 宮丸仁志 さん
 長山未蘭 さん

5 感謝状贈呈 ～今回の事業について～

有限会社円行電設 殿

<ご来賓のみなさま>

- 磯子区役所
高橋 功 区長、八谷将人 副区長、柿崎祐一 地域振興課長
- 横浜市役所
堀 将人 市民局地域活動推進課担当課長
小林和広 建設局住宅政策課長、他 1 名
横浜市住宅供給公社 1 名
- 横浜市立屏風浦小学校
市岡直也 校長
- 屏風ヶ浦ケプラザ
森田ひとみ 地域交流コーディネーター

<ドローン撮影>

保土ヶ谷区在住 新島亮一 さん

5. 太陽光発電設備完成式(通電式)の様子

- 1 日時：令和 6 年 12 月 14 日 10 時より
- 2 会場：中原自治会館
- 3 来賓者名

高橋功磯子区長、八谷将人副区長、
柿崎祐一地域振興課長、横浜市職員
3 名、横浜市住宅供給公社 1 名、
屏風浦小学校市岡直也校長、

屏風ヶ浦ケアプラザ森田ひとみ地域交流コーディネーター、篠原豪衆議院議員、
新井絹代県会議員、市川さとし県会議員、
二井くみよ市会議員、関勝則市会議員は自治会環境部長として参加

- 4 参加者は、子ども会、老人会、理事など 70 名でした。
- 5 式の進行は高橋正行副会長が務めました。
- 6 はじめに会長より今回の太陽光発電施設導入の経緯と意義について話がありました。完成式には子供も参加してもらいました。地球温暖化防止は子供達の問題です。横浜市は 2050 年に温暖化ガス排出量 0 を目指しています。現在 10 歳の子は 2050 年に 35 歳になります。目標が達成できないときはどうなるのか。子供達と一緒に考えなければならないと思います。

また、屏小の市岡校長は、自治会館が導入した太陽光発電装置を授業で活用したいとお話しされていました。地域でもぜひ活用していただきたいと思います。



- 7 磯子区長からお祝いの言葉をいただきました。
- 8 横浜市より家庭でできる省エネについてのお話がありました。
- 9 太陽光発電装置は直接見られませんので、事前にドローンで撮影した映像を見ていただきました。太陽光発電装置の仕組みについての話もありました。



10 通電式

ここでは、地震時の停電を再現しました。右の写真がその時の様子です。

子供会の長山未蘭さんと、宮丸仁志さんが「地震だ」と叫ぶと、会館のブレーカーが落ち停電状態となります。すると高橋磯子区長が「地震かな」とつぶやく。やがて電気がつくという劇を行いました。この時に点灯した電気は太陽光で発電したものです。電気が付いた時は拍手が起きました。



今回、リアルタイムで発電量を表示できるモニターは設置できませんでしたが、インターネットで見られる「エコめがね」を導入しました。「エコめがね」をテレビ画面に映し、発電の様子を見ていただきました。

- 11 最後に、施工業者の有限会社円行電設に感謝状を贈呈しました。

- 12 参加した子供感想です。

通電式では、太陽光発電についての仕組みを知ることができました。停電した時に電気がつくので、安心出来ると感じました。太陽光発電は二酸化炭素が出ないことも分かったので、私も二酸化炭素を減らすためにできることを少しずつ取り組みたいです。
屏小4年 鳴海佑菜

太陽光発電が地球にいい事だと勉強になりました。全員の家に太陽光発電がつけば、地球温暖化を防ぐ事ができるなと思いました。 杉小4年 宮丸仁志

地球温暖化がますます進んでおり、子供たちの将来が心配です。この太陽光発電装置が、災害時の非常時用電源として、地球温暖化防止の一助となればと思います。自治会みなさんに感謝申し上げます。

この事業は、神奈川新聞の12月25日の紙面、タウンニュース（金沢区・磯子区版）2025年元旦号で取り上げていただきました。